

商学部主催学術講演会

商学研究科共催、産業研究所協賛

演 題：EU統合と欧州企業

講 師：久保 広正（くぼ ひろまさ）氏

神戸大学大学院経済学研究科教授

EUインスティテュート関西代表

日 時：2008年11月17日（月） 2限（11：10～）

会 場：B号館 203号教室

【講演要旨】

1950年代から始まったEU統合は、その後、深化と拡大を繰り返し、現在では27ヶ国、GDPで見ると16.8兆ドルに達する巨大な経済圏を形成するようになっている（2007年）。欧州企業はこのようなEU全域を視野に入れ、競争力強化のためにいくつかの戦略を実施しつつある。例えば、中東欧諸国をも対象とした生産ネットワークの拡張である。すなわち、サプライ・チェーンをいくつかの工程に分断（fragment）し、各工程について最適地生産を実現しようとしているのである。R&Dセンターはドイツ、部品生産はルーマニア、アSEMBリーはハンガリー、バックオフィスはチェコに設置するなどである。果たして、このような戦略を実施する欧州企業に対して、日本企業はどのように対抗するのであろうか。

【講師紹介】

久保 広正（くぼ ひろまさ）1949年生まれ。神戸大学経済学部卒業。1973年丸紅株式会社入社。日本経済研究センター、欧州共同体委員会への出向の後、英国会社、調査部副部長を経て1999年に神戸大学経済学部教授に就任。2000年より現職。2005年4月から「EUインスティテュート・イン・ジャパン関西*」代表。著書は「欧州統合論（2003年）」勁草書房、「現代ヨーロッパ経済（2001年、共著）」有斐閣、「ヨーロッパ経済論（2004年、共著）」ミネルヴァ書房など。

*欧州委員会の資金援助により神戸大学、関西学院大学、大阪大学からなるコンソーシアムに設置された研究教育拠点。